大磯高等学校　令和５年度卒業式　校長式辞

例年にない暖冬が過ぎ去り、本格的な春の訪れが感じられる本日ここに、神奈川県立大磯高等学校第 74 回卒業式を盛大に挙行できますことは、私ども教職員にとりまして、この上ない喜びです。また、ＰＴＡ会長　常盤　健嗣様、同窓会副会長　岩田　耕平様をはじめとした多くのご来賓のみなさま、並びに保護者の皆様をお招きできましたことも、たいへんうれしく思います。ご多忙中のところ、ご列席を賜り、誠にありがとうございます。

ただ今、卒業証書を授与いたしました 267 名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。保護者のみなさま、お子様のご卒業にあたり、喜びもひとしおかと存じます。本日まで、本校の教育活動に深いご理解とご協力を賜りましたことを、教職員を代表して心より感謝申し上げます。

また、ＰＴＡより証書フォルダーとコサージュ、同窓会より印鑑を記念品としていただきましたことを、この場をお借りしてご披露させていただきます。誠にありがとうございました。

さて、卒業生のみなさん。

３年前の入学式、私はみなさんと同じように、とても新鮮な気持ちでこの場に立っていました。大磯高校に着任して初めての入学式でした。

「勉強を通じて人生の生き方、つまり、将来直面するさまざまな問題に対する向き合い方を学んでほしい」

「自分の好きなことや多くの人とのコミュニケーションを通じて自分の可能性を広げ、豊かで強い生き方を学んでほしい」

「苦手なことから逃げず、自分の得意とする、あるいは興味のあることをとことん追求し、挑戦し続ける努力を積み重ねてほしい」

「大磯高校の３年間で将来の幸せにつながる大切なことを学んでほしい」

たくさんのことをみなさんに託して、大磯高校での３年間をスタートしてもらいました。あのとき、みなさんはどのような初心を抱き、どのような目標を掲げたでしょうか。振り返ってみてください。

「たくさん勉強したな」「大勢の人と出会えた」「好きなこと、やりたいことを見つけることができた」「チャレンジし続けた３年間だったな」

多くのみなさんが今、このような感慨を抱き、充実感を持って、ここにいるのではないかと私は思っています。

去年の春まで、私たちはコロナ禍による影響を大きく受け続け、学校生活においても制限がありました。そんな中でも、みなさんは先輩たちのリーダーシップに学びながら、それぞれが個性を生かして力を発揮し、学校行事や部活動を大いに盛り上げてくれました。短い時間を精一杯使い、懸命にそれぞれの目標達成に向けて学び、活動できたことは、かけがえのない経験であり、きっとみなさんにとって新たなスタートの糧となることでしょう。

大磯高校校歌の３番に「友よ師よ忘れじ　相模のわたり睦ぶみとせを」という歌詞があります。そして、大磯高校の進路・学習の手引きのタイトルは「心にえがく　学ぶみとせ」でしたね。大磯高校で過ごすみとせ、つまり３年間は、友達・先輩や先生と睦ぶ（親しむ）みとせ（３年間）であるとともに、しっかりと「学

ぶ」みとせであってほしい。そんな願いが込められています。みなさんのみとせは今日が集大成ですが、大磯高校での「学び」は充実していたでしょうか。そして、これからまだまだ長い人生を生き抜いていくみなさんは、何をどのように学んでいったらよいのでしょうか。

たとえば、「歴史から学ぶ」という言い方があります。しかし、人間がその歴史から学ぶなら、戦争はなぜ起きてしまうのでしょう。大きな災害を経験した私たちは、もっと迅速に支援を行い、復興できないものなのでしょうか。世の中はこれでいいのだろうかと思うことが、みなさんが大人になっていく過程で、また、大人になった先にもきっとあるでしょう。

私たち人間は一生学び続けていく中で、こういった大きな疑問や課題に向き合い、解決に向けて努力し、ここだと思ったときに行動を起こすべきなのだと思います。一人ひとりに蓄積された「学び」が生かされる瞬間に向けて生き、学び続けていくのだと思うのです。みなさんにとって重要なことは、これからも学び続け、「豊かな知性、健全な精神、国際感覚」を身に付けることなのだと、心に刻んでください。

みなさんは、変化が大きくスピードの速い時代のど真ん中に生きています。理解する前、判断する前に、次々に新しいものやことが生み出されています。そして、それらは非常に多様です。何が自分に必要か、何が自分にとって大切か、あなた方自身が自分の価値観を持たなければ、振り回されてしまうことでしょう。誰かの判断を待ち、言われたことだけをやるなら、二流のロボットと変わりません。判断する、見極めるのはあなた自身なのです。

読解力や数学的思考力のテストをＡＩと人間が受けた場合、2026 年にはＡＩが人間を上回ると予測されています。創造性＝つまり新しいものを生み出すこと、協調性＝つまり周囲の人と穏やかに問題を解決する、お互いに譲り合って調和を図るなど、人間ならではの能力が人間の強みとなる時代です。

生成ＡＩに人間が支配されることのない時代を創ることは、みなさんの使命でもあります。みなさんの創造性や協調性をフルに使って、一人ひとりが人生 100 年時代における人間の、そして自分自身の幸福を追求してください。

磯高生について尋ねられたとき、私はいつも自信を持って答えます。素直で優しく、伸びしろの大きな素晴らしい生徒たちだと。みなさんの笑顔や優しさは何物にも代えがたい大きな価値があります。笑顔を忘れず、自らの健康に留意して大いに活躍し、幸せをつかんでください。

今日、卒業を迎えられたのは、みなさんの努力の賜物であるとともに、ご家族や周囲の方々の温かい支援があってこそのものです。そのことを忘れずに、常に感謝の気持ちを持って、周囲の人々に優しさや思いやりを分け与えてあげてください。

みなさんの輝かしい未来を心から願い、校長として、そして大磯高校の先輩としての式辞といたします。

令和６年３月１日
神奈川県立大磯高等学校校長　立花ますみ